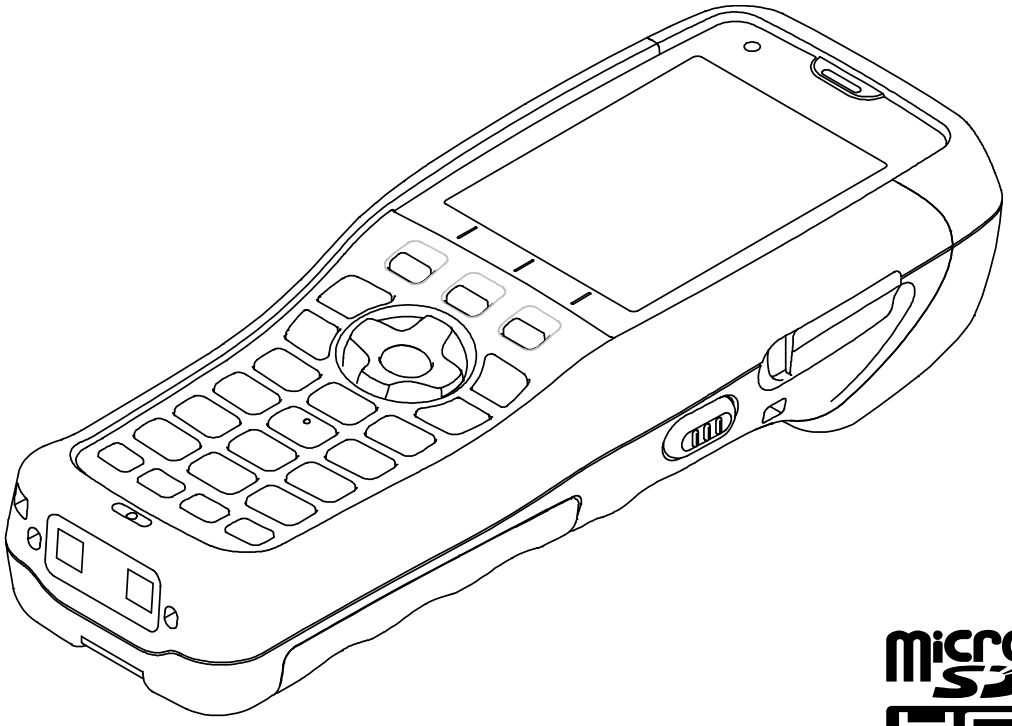
Panasonic

取扱説明書

携帯端末機

品番 JT-H300HTシリーズ

JT-H300HT-10
JT-H300HT-2W
JT-H300HT-3W
JT-H300HT-2H



●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（4～7ページ）を必ずお読みください。**
●この取扱説明書は、大切に保管してください。

はじめに

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、携帯端末機の取り扱い方法について、説明しています。
ご使用になる前に必ず一読し、正しい使い方をしていただきますようお願いします。

機種ごとの対応機能一覧

品　番	JT-H300HT-10	JT-H300HT-2W	JT-H300HT-3W	JT-H300HT-2H
Bluetooth®	○	○	○	○
無線 LAN	－	○	○	○
3 G通信	－	－	－	○
2 次元スキャナー	－	○	－	○
レーザースキャナー	○	－	○	－
タッチパネル	－	－	○	－

詳しくは、29～30 ページの主な仕様をご覧ください。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ＶＣＣＩ－Ｂ

もくじ

はじめに 2
機種ごとの対応機能一覧 2
もくじ 3

ご使用の前に

安全上のご注意 4
使用上のお願い 8
機器・付属品の確認 10
各部の名前と働き 11

使い方

SIMカードの挿入と取り出し方法 14
メモリーカードの挿入と取り出し方法 17
電池パックの交換方法 20
携帯端末機の充電方法 22
スキャナーの読み取り操作 23

必要なときに

周辺機器との接続時のお願い 25
お手入れのしかた 26
困ったときには 27
障害時の対応 28
主な仕様 29

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

■電池パック（JT-H200BT）について

⚠ 危険

**携帯端末機専用の充電式電池です
この機器以外に使用しない**

禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

充電の際は専用充電器を使用する

発熱・発火・破裂の原因となります。

火への投入、加熱をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

**クギで刺したり、衝撃を与えたり、
分解・改造をしない**

禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

安全上のご注意　（つづき）

■電池パック（JT-H200BT）について（つづき）

⚠ 危険

(＋）と（－）を金属などで接触させない ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない

禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・放置しない

禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

⚠ 警告

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池パックが液もれしたり、異臭を発したりする場合は火気に近づけない

禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

電池パックからもれた電解液には触れない

禁止

液が目に入ったとき失明のおそれがあります
きれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

安全上のご注意　（つづき）

■本体（JT-H300HTシリーズ）について

⚠ 警告

ビームをのぞき込まない

レーザー光線
注意

長時間直視すると、レーザー光によって目に傷害を起こす原因となります。

歩行中や自動車・自転車などの運転中に操作をしない

禁止

転倒や交通事故などの原因となります。

メモリーカード*やSIMカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込んだり、けがの原因となります。

・万一、飲み込んだと思われるときはすぐに医師にご相談ください。

医療機器に近づけない（手術室、集中治療室、ＣＣＵ※等には持ち込まない）自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

※ＣＣＵとは，冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

禁止

落下によるけがや事故の原因となります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所には置かない

禁止

けがの原因となります。

コード読み取り口をのぞき込んだり、人の目に向けたりしない

禁止

白色光を長時間直視すると目に傷害を起こす原因となります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

禁止

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけどの原因となります。

*　メモリーカードとは、microSDカード、microSDHCカードを示しています。以降、microSDカード、microSDHCカードは「メモリーカード」と表記します。

安全上のご注意　（つづき）

■3G 通信モジュール搭載モデル（JT-H300HT-2H）における取り扱いについて

⚠ 警告

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
アプリケーションによる自動電源オン機能がある場合は、設定を解除してください。

病院内や医療機器のある場所では電源を切る
（手術室、集中治療室、ＣＣＵ※等には持ち込まない）

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
アプリケーションによる自動電源オン機能がある場合は、設定を解除してください。

※ＣＣＵとは，冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
アプリケーションによる自動電源オン機能がある場合は、設定を解除してください。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

使用上のお願い

本機を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

■携帯端末機について

- 本体のケースを開けたり、改造したりすることは行わないでください。

■電池パックについて

- 電池パックは消耗品です。電池の寿命は使用状態によって異なりますが、目安として使用開始後約 1 年または充電回数が約 300 回を超えると、充電する力が弱くなります。満充電後、短時間で消耗するようになったら、新しい電池パックと交換してください。
- 必ず指定の電池パック（JT-H200BT-20）をお使いください。
- 電池パックの交換は、必ず電源を OFF にした状態で行ってください。
- 電池パックの接点部には、触れないでください。接触不良の原因となります。
- 充電終了後、電源を OFF の状態で長時間放置していると、電池容量が低下します。
- 電池パックは周囲温度 5 ℃ ～ 35 ℃の範囲で充電してください。
- 電池パックは周囲温度-20 ℃ ～ 35 ℃の範囲で保存してください。
  範囲外での充電、保存は電池パックの性能や寿命を低下させます。
- 電池パックはお使いになる前に充電してからご使用ください。
- 電池パックの端子が汚れたら乾いた柔らかい布でふき、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪くなり充電できなくなったり、電源が切れたりする原因となります。
- 電池パックの端子に異物をつめると取れなくなり、機器の破損および故障の原因となります。
- 電池パックに発熱、変形、異臭などの異常を発見したときは使用しないでください。
- 規定の充電時間が過ぎても充電が終了しない場合は、機器から取り外してください。
  電池パックの保護装置がこわれているおそれがあります。
- 本機で使用する充電式電池は、リチウムイオン電池です。
  リサイクルマークは青色です。

  Li-ion 00　このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。

- 不要になった電池パックは貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルへご協力ください。
  詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページを参照してください。
  ホームページ　　http：//www.jbrc.net/hp
- 使用済み電池パックの取り扱いに関するお願い
  ①＋端子、－端子をテープなどで絶縁してリサイクル箱に入れてください。
  ②電池パックは分解しないでリサイクル箱に入れてください。

使用上のお願い　（つづき）

■操作環境・使用場所について

- 温度の高い場所や、ほこりの多い場所に放置しないでください。
- 寒い場所から暖かい場所へ移すと結露することがあります。万一結露した場合には付着した水滴が蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
- 静電気の起きやすい場所（じゅうたんを使用しているところ）や、テレビ・ラジオなど磁気を発生する機器の近くには置かないでください。
- 長時間日光に当たる場所や高（低）温になるところには放置しないでください。
- 雨や水などがかからないようにしてください。

■落下衝撃・傷つきについて

- 本機は精密機器ですので、ていねいにお取り扱いください。衝撃を加えたり、落としたり、本機の上に重いものを置いたりしないでください。
- 光通信 I/F コネクター部には傷をつけないでください。

■タッチパネル搭載モデルについて

- タッチパネルは指または付属のタッチペンで入力し、無理な荷重はかけないでください。また、先端が鋭利で硬いもの（ボールペン、シャープペンシルの先など）で操作しないでください。

機器・付属品の確認

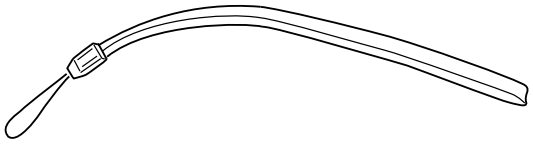
本機がお手元に届きましたら、ご使用になる前に、次の機器・付属品を確認してください。

＊万一、付属品が足りない場合などは、お客様担当窓口にお問い合わせください。

■本体

■ストラップ

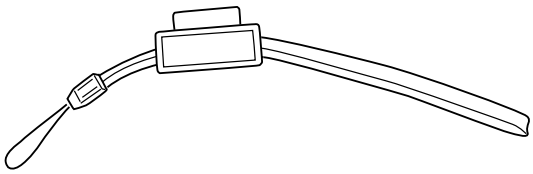
（JT-H300HT-10、-2W、-2H用）



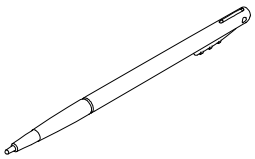
■安全上のご注意

■タッチペンホルダー付ストラップ

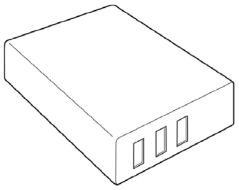
（JT-H300HT-3W用）



■タッチペン（JT-H300HT-3W用）

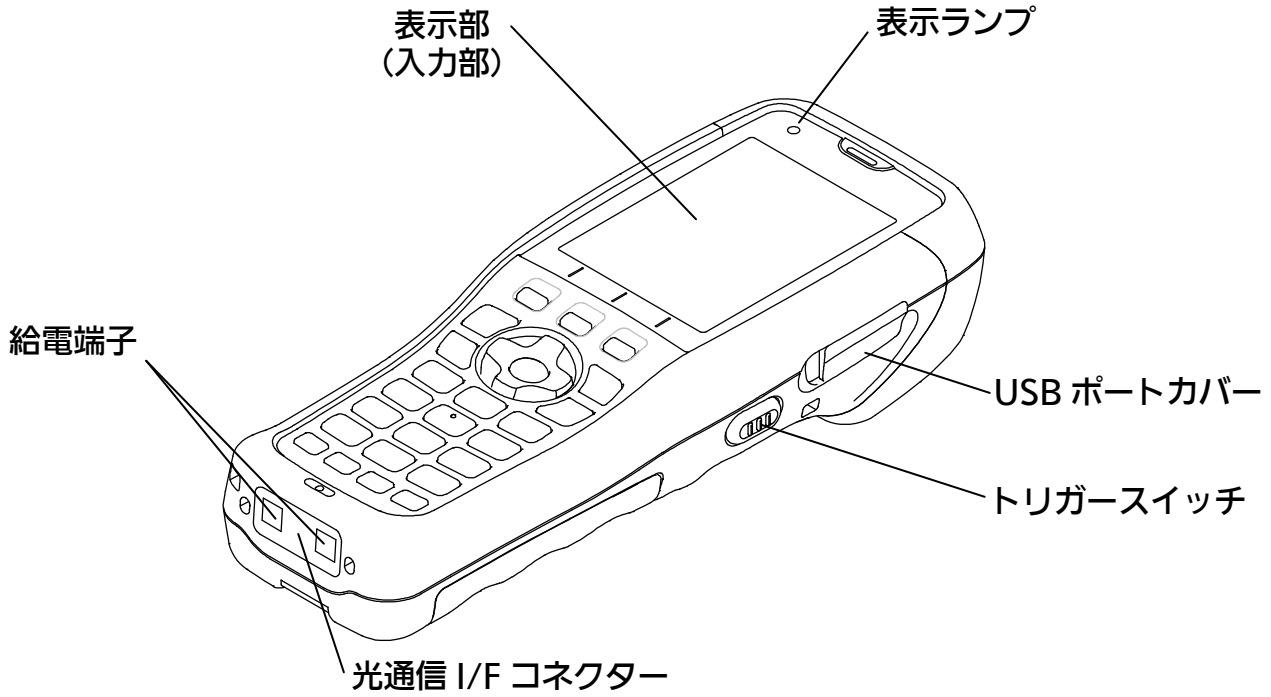


■電池パック（JT-H200BT-20）



各部の名前と働き

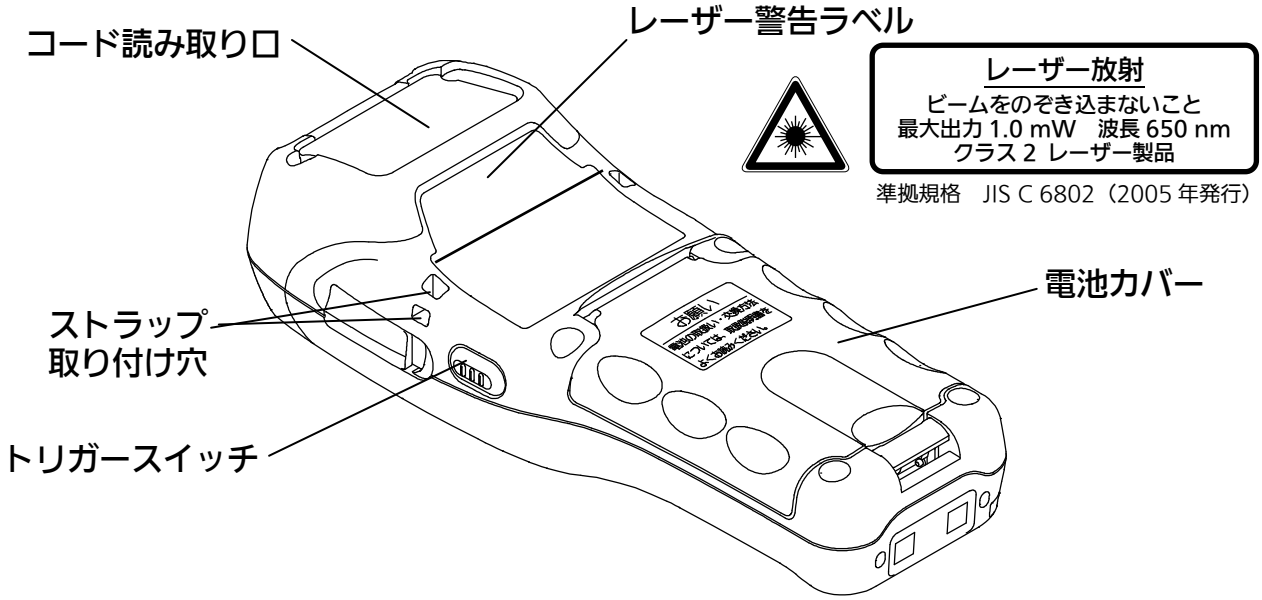
■本体（前面）

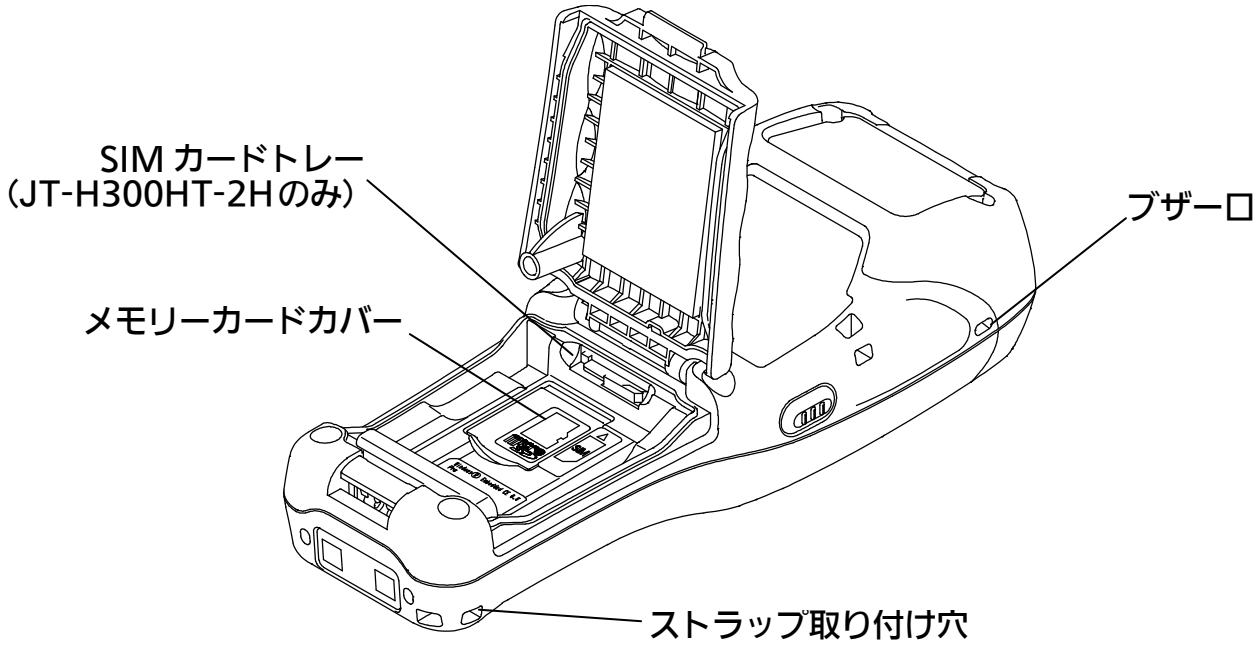


名前	働き
トリガースイッチ	バーコードや 2 次元コードを読み取るときに使います。
光通信 I/F コネクター	携帯端末機や周辺機器（集配信装置、携帯プリンターなど）との通信に使います。
USB ポートカバー	内部に USB mini B タイプコネクターがあります。
表示部（入力部）	タッチパネル搭載モデル（JT-H300HT-3W）の場合、入力操作できます。
表示ランプ	操作時 　緑もしくは赤点灯：スキャナー読み取り成功 　色はアプリケーションにより設定可能です。 充電時（＊） 　緑点灯：充電完了 　赤点灯：充電中 　赤点滅：充電エラー発生

各部の名前と働き　（つづき）

■本体（背面）



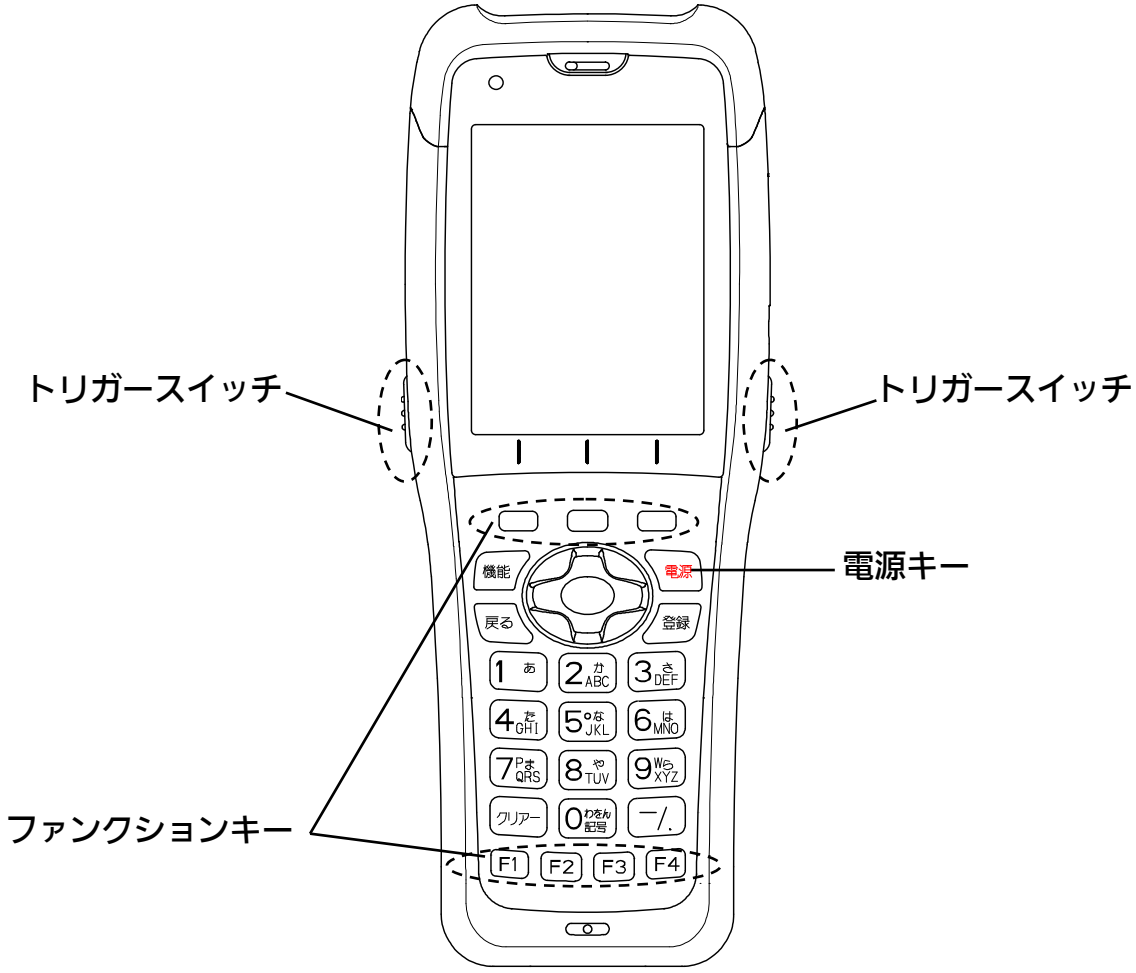


名前	働き
コード読み取り口	バーコードや 2 次元コードの読み取り口です。 読み取り時には、レーザーが照射されます。
メモリーカードカバー	内部にメモリーカードを収納します。
SIM カードトレー （3G 通信モジュール搭載タイプ JT-H300HT-2Hのみ）	SIM カードを収納します。 ＊株式会社 NTT ドコモの FOMA 通信を行うためには、 FOMA カードが必要です。

各部の名前と働き　（つづき）

■キーレイアウト

キーレイアウト図を以下に示します。



名前	働き
電源キー	電源を ON/OFF するときに使います。
トリガースイッチ	バーコードや 2 次元コードを読み取るときに使います。
ファンクションキー	アプリケーションソフトで割り当てた機能を実行するときに使います。

■オートパワーオフ機能について

本機の電源を ON の状態のまま、何のキー操作もせずにしばらく放置しておくと、自動的に電源が OFF されます。

再度、電源を ON にすると、電源を OFF された状態の画面で立ち上がります。

SIM カードの挿入と取り出し方法

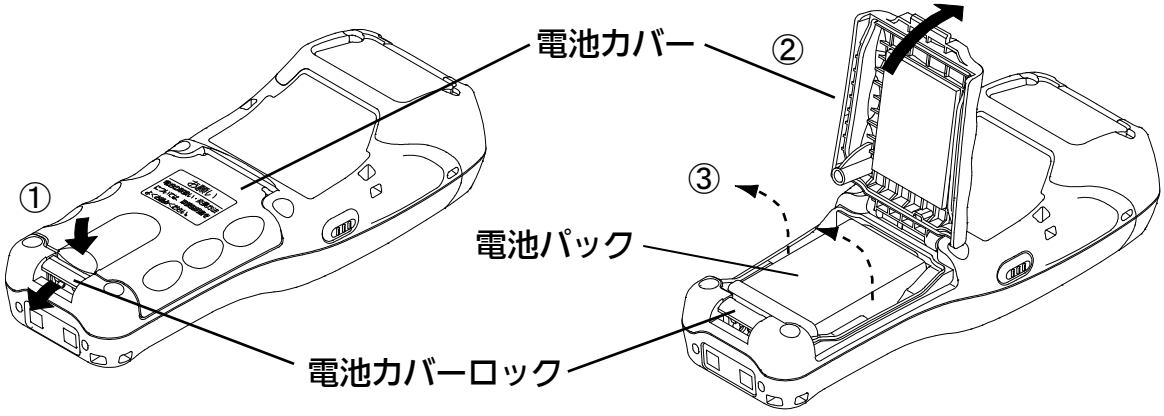
SIM カードは、３G通信モジュール搭載モデル（JT-H300HT-2H）で使用します。

SIM カードを読み書き中に SIM カードの取り出しを行うと、SIM カードの故障やデータの破損などが発生する場合がありますので、業務ごとに定められた操作説明に従ってください。

■SIM カードの挿入

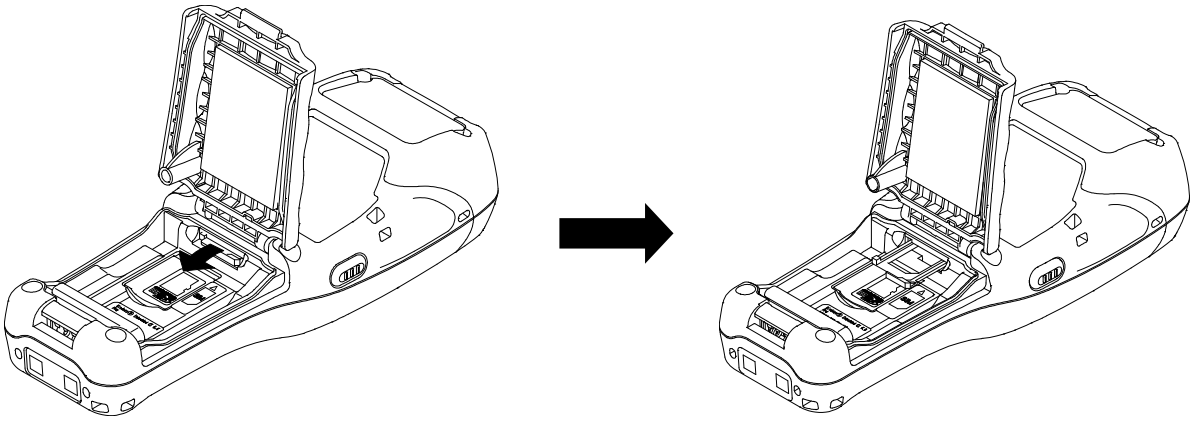
1 電源が入っている場合は、SIM カードを挿入または取り出す前に、実行中の業務を終了し、電源を切ってから行ってください。

2 携帯端末機裏側の電池カバーのへこみ部分を押しながら、電池カバーロックを手前に引き（①）、電池カバーを開けてください（②）。電池パックが入っている場合は、電池パックを引き上げて抜き取ってください（③）。



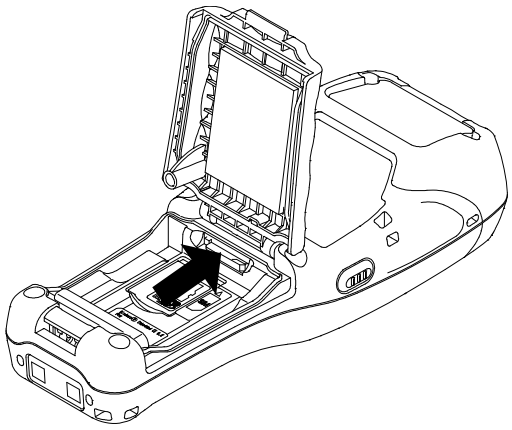
携帯端末機に水滴がついている場合は、乾いた柔らかい布でふきとってから、電池カバーを開けてください。

3 SIM カードトレーを手前に引き出します。



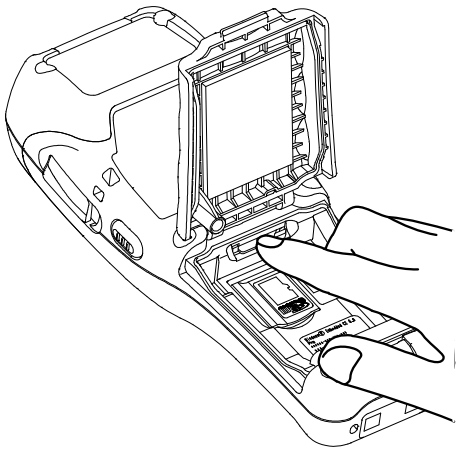
SIMカードの挿入と取り出し方法(つづき)

4 SIM カードをトレーに載せます。カードの向きに注意してください。カードをトレーに乗せた後、トレーを奥まで押し込みます。



◆お願い

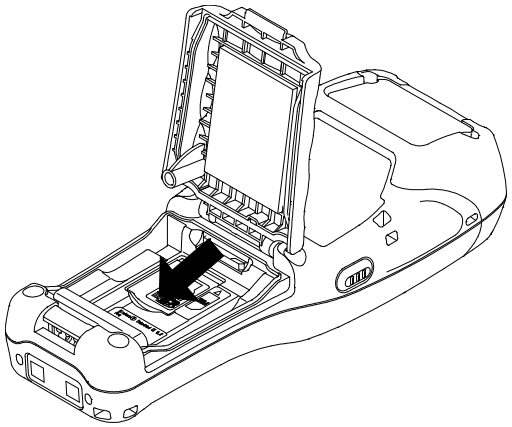
- トレーが奥まで差し込まれていないと電池パックが挿入できなくなりますので、トレーを確実に奥まで押し込んでください。



SIM カードの挿入と取り出し方法(つづき)

■SIM カードの取り出し

SIM カードの挿入の手順 1～3 に従って SIM カードトレーを手前に引き出し、
SIM カードを取り出します。



◆お願い

- SIM カードを無理に付けたり外したりすると SIM カードが壊れることが有りますので気をつけてください。（お客様の記録されたデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）
- 外した SIM カードは無くさないように気をつけてください。

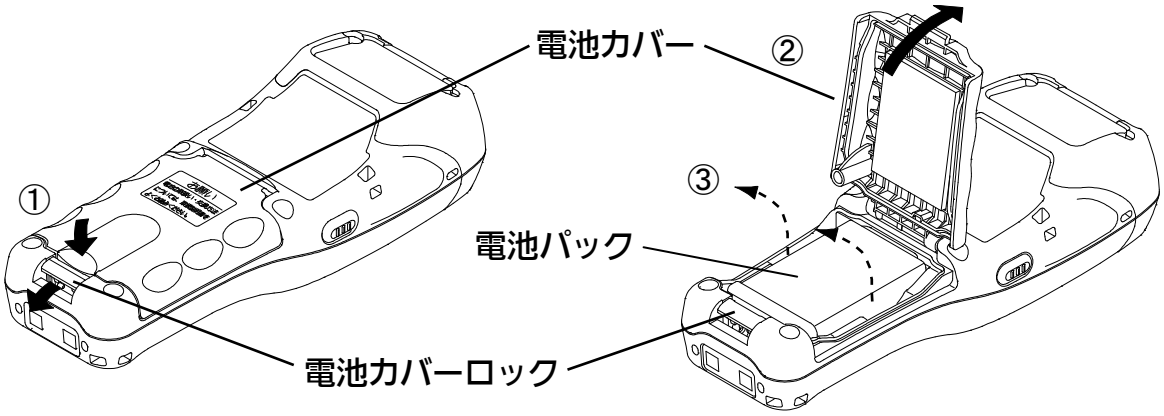
メモリーカードの挿入と取り出し方法

メモリーカードを読み書き中にメモリーカードの取り出しを行うと、メモリーカードの故障やデータの破損などが発生する場合がありますので、業務ごとに定められた操作説明に従ってください。

■メモリーカードの挿入

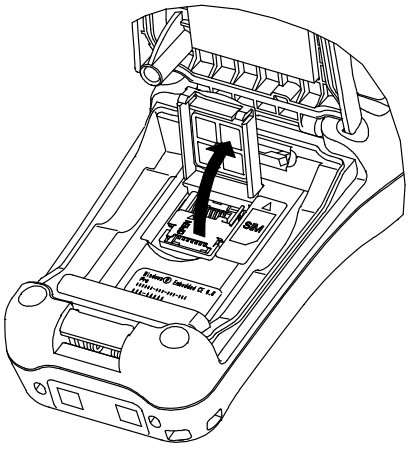
1 電源が入っている場合は、メモリーカードを挿入または取り出す前に、実行中の業務を終了し、電源を切ってから行ってください。

2 携帯端末機裏側の電池カバーのへこみ部分を押しながら、電池カバーロックを手前に引き（①）、電池カバーを開けてください（②）。電池パックが入っている場合は、電池パックを引き上げて抜き取ってください（③）。



携帯端末機に水滴がついている場合は、乾いた柔らかい布でふきとってから、電池カバーを開けてください。

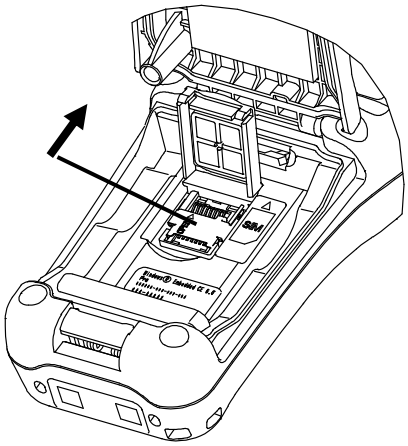
3 メモリーカードカバーを開けます。



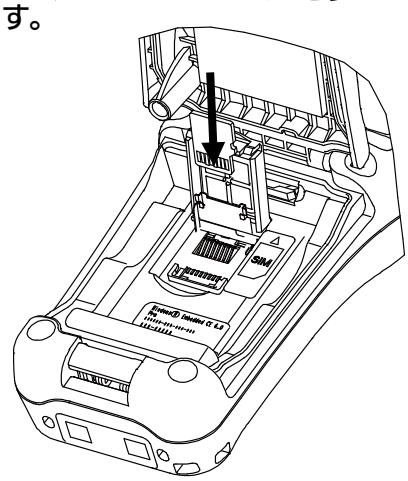
メモリーカードの挿入と取り出し方法（つづき）

4 メモリーカードスロットに、メモリーカードを挿入します。

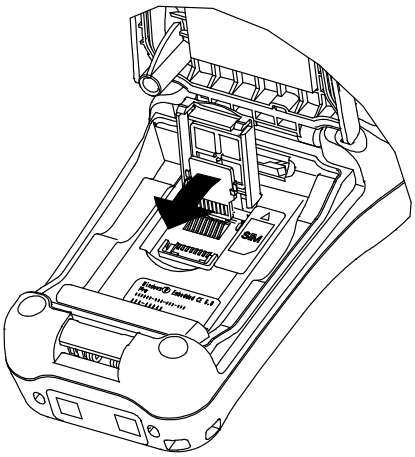
①カードスロットのカバーを奥側にスライドさせ、カードスロットのカバーを開けます。



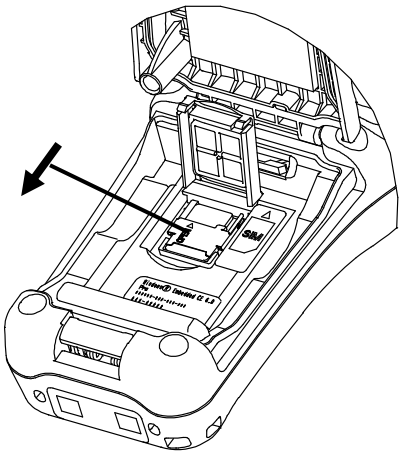
②カードスロットカバーにメモリーカードを挿入します。



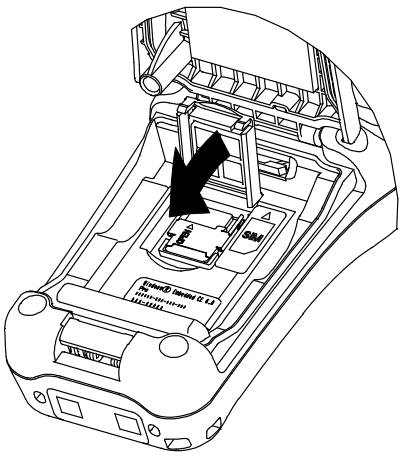
③メモリーカードをカードスロットのカバーの奥まで入れ、カードスロットのカバーを閉じます。



④カバーを手前にスライドさせます。



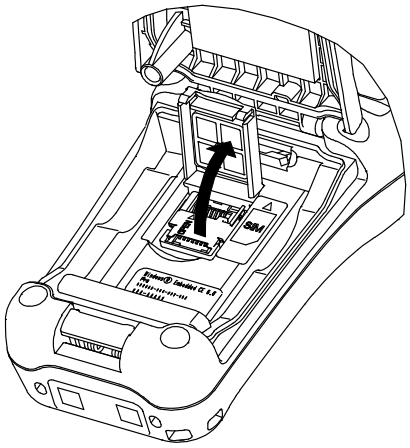
5 メモリーカードカバーを閉じます。



メモリーカードの挿入と取り出し方法（つづき）

■メモリーカードの取り出し

メモリーカードの挿入の手順１～３に従ってメモリーカードカバーを開け、カードスロットのカバーを奥側にスライドさせ、カードスロットカバーを開き、メモリーカードを取り出します。



◆お願い

- メモリーカードの読み書き中は、電源を OFF にしたり、電池を取り出したりしないでください。データが破壊されることがあります。（お客様の記録されたデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）

電池パックの交換方法

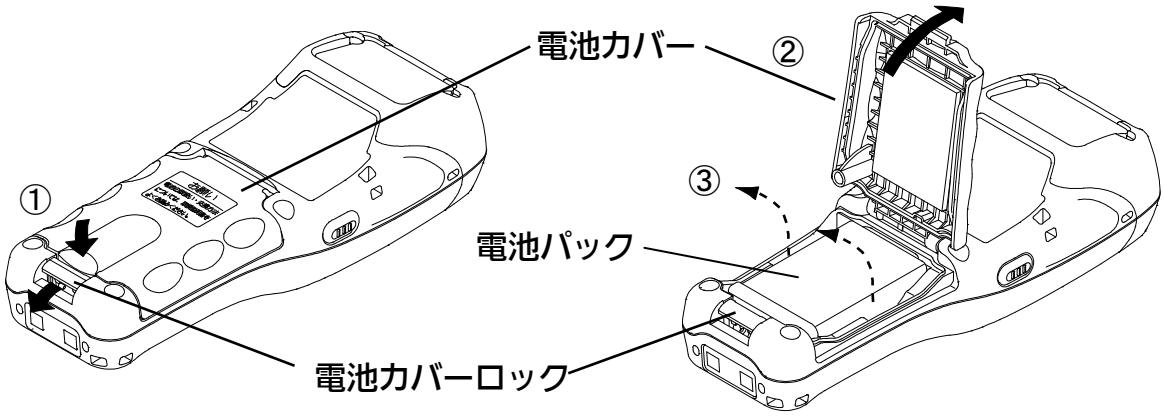
■電池パック（JT-H200BT-20）の交換方法

電池パックをはじめてご使用になる場合は、充電してからご使用ください。

1 電池パックを交換する際には、途中の業務を終了し、携帯端末機の電源を OFF にします。

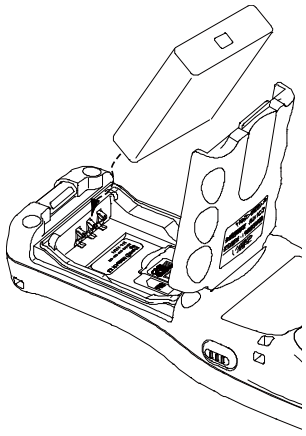
＊携帯端末機が動作中に電池パックを外すと、入力データの消滅などが発生する場合があります。

2 電池パックを抜き取ります。
携帯端末機裏側の電池カバーのへこみ部分を押しながら、電池カバーロックを手前に引き（①）、電池カバーを開いてから（②）、電池パックを引き上げて抜き取ってください（③）。



携帯端末機に水滴がついている場合は、乾いた柔らかい布でふきとってから、電池カバーを開けてください。

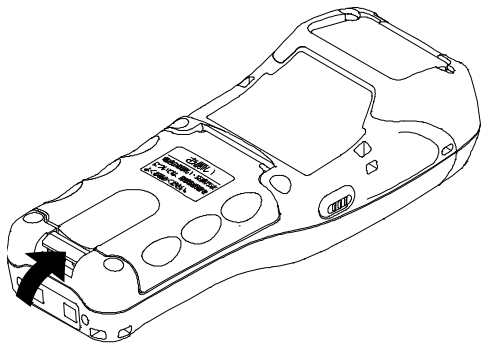
3 電池パックを交換します。
端子の向きに注意して、電池パックを携帯端末機に装着します。



電池パック収納部に水滴やゴミが入っている場合は、乾いた柔らかい布でふきとってください。

電池パックの交換方法　（つづき）

4　電池カバーを閉め、確実にロックします。



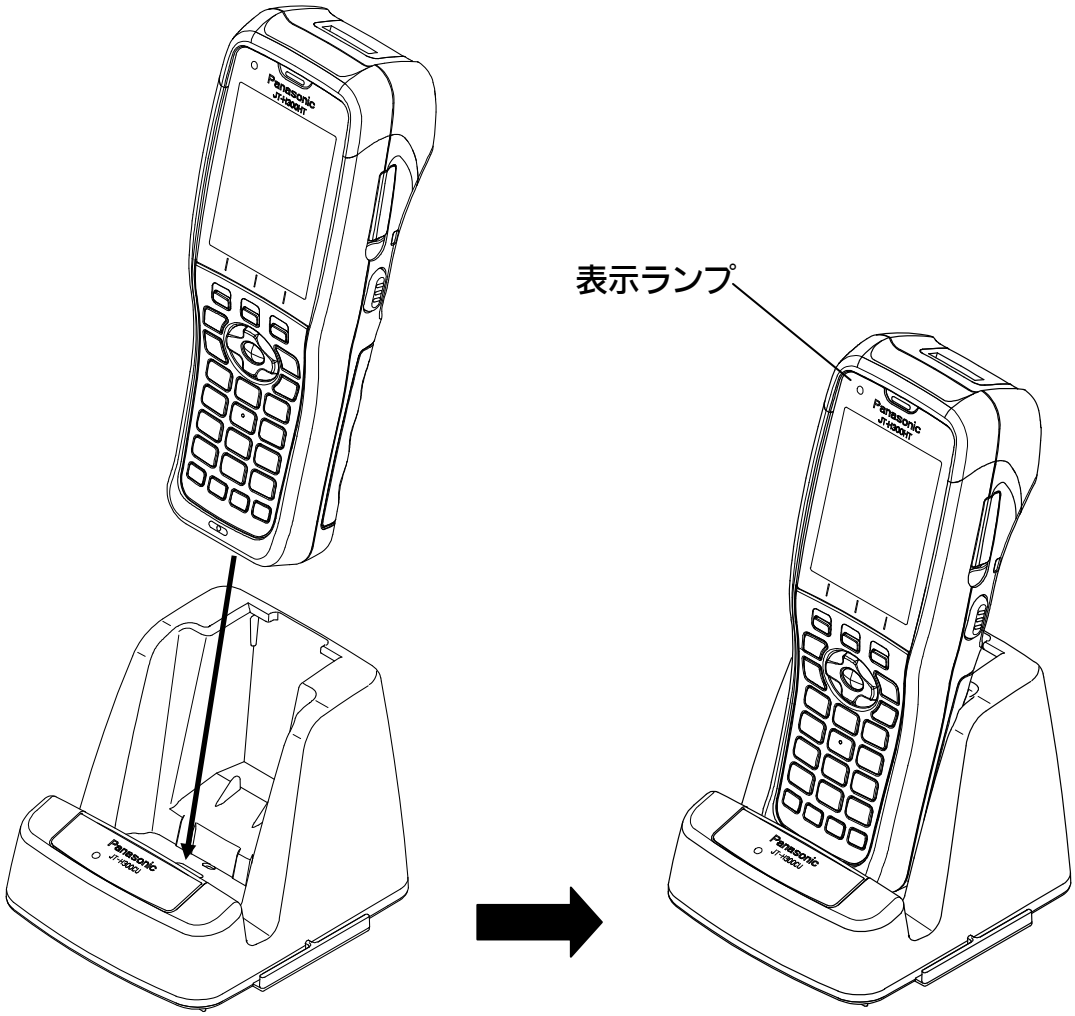
電池パック収納部に水滴が入らないように、
電池カバーロックを確実にロックしてください。

◆お願い

- **電池パックを外したまま３分以上放置すると、保存していないデータは失われます**ので、電池パックの交換は速やかに行ってください。
- 電池パックの交換は、必ず携帯端末機の電源を OFF にした状態で行ってください。
- 電池パックの向きを確認して装着してください。
- 電池残量不足のメッセージが表示されたら、電池パックを充電してください。
- 収納部の電池カバーを閉めるときは、指をはさまないようお気をつけください。
- 長時間使用されない場合は、電池パックを抜いて保管してください。
- 指定の電池パック（JT-H200BT-20）をご使用ください。

携帯端末機の充電方法

携帯端末機を集配信装置に挿入します。



（セット状態）

表示ランプ	充電時（＊） 緑点灯：充電完了 赤点灯：充電中 赤点滅：充電エラー発生

＊ 充電完了時は、表示ランプの赤点灯が一度消灯し、その後緑点灯に切り替わります。
電池が満充電の状態で充電すると、表示ランプが点灯しない場合がありますが、しばらくすると緑点灯します。
周囲温度が充電温度範囲（5 ℃ ～ 35 ℃）外になると充電を中止し、表示ランプは消灯します。
アプリケーションによって、３G通信モジュール搭載モデル（JT-H300HT-2H）では表示ランプが正しく表示されない場合があります。

上記の図は集配信装置：JT-H300CU-10　を例にしています。

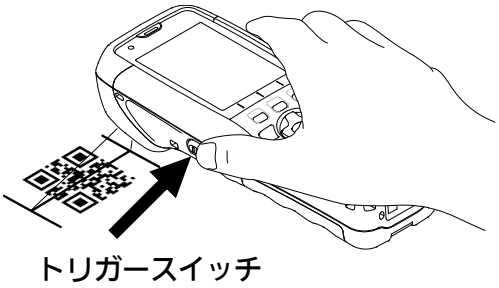
充電台：JT-H200CU-0B　も同様に携帯端末機を挿入し、充電を行います。

スキャナーの読み取り操作

■2次元スキャナーの読み取り方法（対応機種：JT-H300HT-2W, -2H）

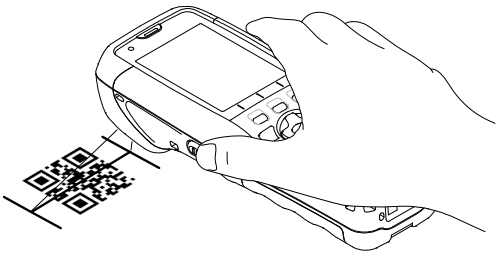
1 トリガースイッチを押すと、レーザーマーカーが照射されます。

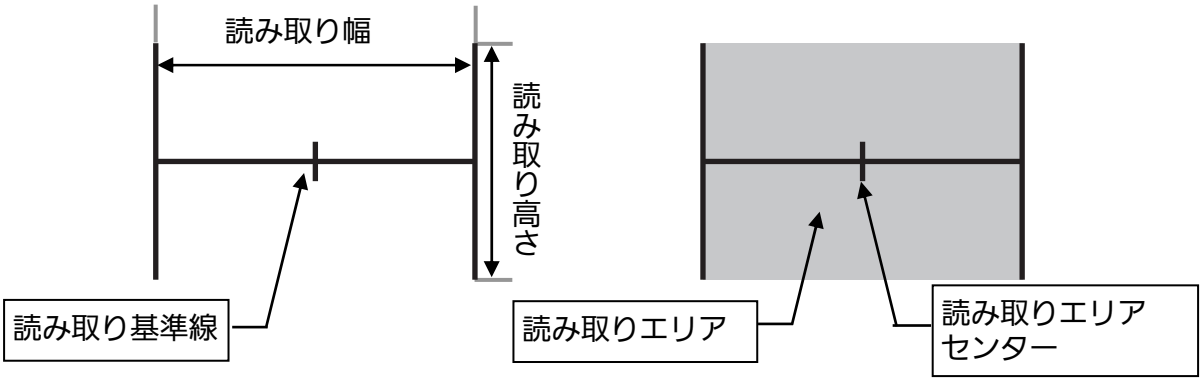
＊アプリケーションによってはトリガースイッチ以外のキーを使用する場合があります。



2 レーザーマーカーの読み取りエリア内にバーコード（2 次元コード含む）がくるように操作します。

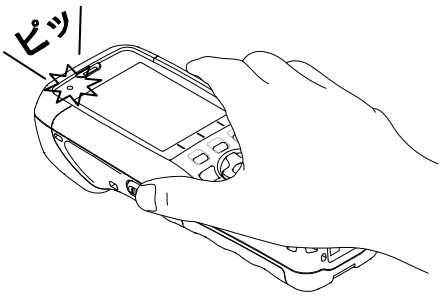
＊スキャナーの読み取り範囲はレーザーマーカーを目安にしてください。





3 バーコードを読み取ると、「ピッ」とブザー音が鳴り、表示ランプが点灯します。

＊表示ランプの色およびブザー音はアプリケーションにより設定可能です。



◆お願い

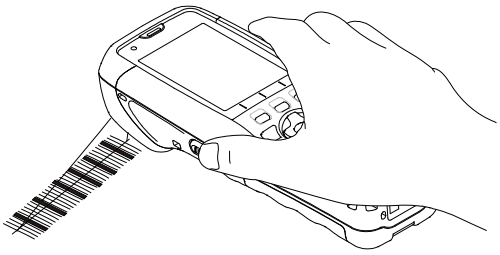
- バーコードとコード読み取り口は、約 5 cm 以上離してください。
  バーコードに対してスキャナーを垂直に当てるとラベルが反射して読みづらい場合があります。その場合はスキャナーが斜めに当たるよう、携帯端末機を少し傾けてください。

スキャナーの読み取り操作　（つづき）

■レーザースキャナーの読み取り方法
（対応機種：JT-H300HT-10, -3W）

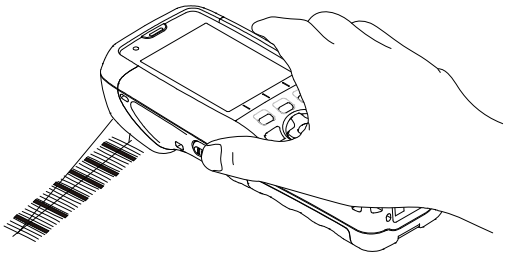
1 トリガースイッチを押すと、レーザー光が照射されます。

＊アプリケーションによってはトリガースイッチ以外のキーを使用する場合があります。



2 照射エリアの中央にバーコードがくるように操作します。

＊レーザー光がバーコードを全て横切るように操作します。

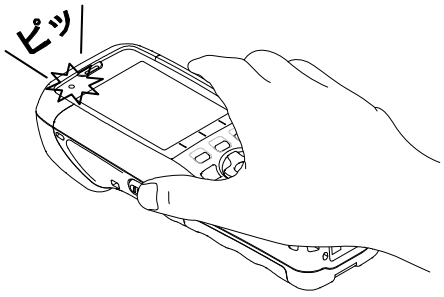


OK

NG

3 バーコードを読み取ると、「ピッ」とブザー音が鳴り、表示ランプが赤点灯します。

＊表示ランプの色およびブザー音はアプリケーションにより設定可能です。



◆お願い

- バーコードに対してスキャナーを垂直に当てるとラベルが反射して読みづらい場合があります。その場合はスキャナーが斜めに当たるよう、携帯端末機を少し傾けてください。

周辺機器との接続時のお願い

本機と周辺機器との通信は、光通信または無線通信（Bluetooth®、無線LAN）で行います。
周辺機器と通信を行う手順につきましては、お客様担当窓口にお問い合わせください。

■光通信で周辺機器と通信するときのお願い

- 本機に水滴がついている場合は、水滴をふきとってから周辺機器と接続してください。
- 周辺機器との通信ができなかった場合には、周辺機器の取扱説明書に従ってもう一度はじめから行ってください。
  また、本機および周辺機器の光通信 I/F コネクター部が汚れている場合は、乾いた柔らかい布でふいてから、通信を行ってください。

■無線通信（Bluetooth®、無線LAN）で周辺機器と通信するときのお願い

- 他の無線機や OA 機器・送電線などの近くでは、電波が発生しているため通信できない場合があります。
  また、本機や周辺機器を車の車体や金属製の机などの上に置くと無線通信に悪影響を与える場合がありますので、このような場所を避けてご使用ください。
- 無線通信がうまくできない場合は、本機と周辺機器の距離を近づけてもう一度通信を行ってください。

■集配信装置（JT-H300CU-10）にセットするときのお願い

- 水滴がついたまま本機を集配信装置に置かないでください。
  本機を集配信装置に置くときは、水滴をふきとってから置いてください。
- 集配信装置の通信ランプが点滅中は、本機を抜き取らないでください。
- 本機を集配信装置から持ち出すときには、集配信装置の通信ランプが消え、エラーがないことを確認してください。
- ストラップが本機と集配信装置の間にはさまっていると通信および充電ができませんので、本機を集配信装置にセットするときは、ご注意ください。
- 携帯端末機は周囲温度 5 ℃ ～ 35 ℃の環境で充電してください。

■充電台（JT-H200CU-0B）にセットするときのお願い

- 水滴がついたまま本機を充電台に置かないでください。
  本機を充電台に置くときは、水滴をふきとってから置いてください。
- ストラップが本機と充電台の間にはさまっていると充電ができませんので、本機を充電台にセットするときは、ご注意ください。

お手入れのしかた

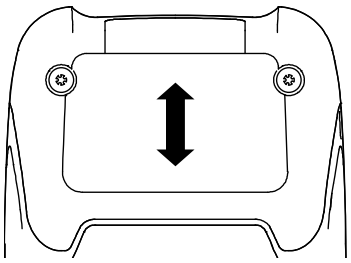
お手入れは、必ず電源を OFF した状態で行ってください。

■携帯端末機

- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
  汚れがひどい場合は、水にひたした布をかたくしぼってから軽くふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジン、ワックス、石油、石けん、みがき粉、熱湯、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

■コード読み取り口

- コード読み取り口部分にゴミや油が付着すると、バーコードが読み取りできなかったり読み取り距離が短くなったりする場合がありますので、汚れに応じて乾いた柔らかい布でふくか、水にひたした布をかたくしぼってから軽くふいてください。(目安として月に一度)。
- ふきとりの際は、図のようにスキャナー読み取り口に対して縦方向にふいてください。



■光通信 I/F コネクター

- 光通信 I/F コネクター部分にゴミや油などが付着すると、本機と集配信装置の通信が行えない場合がありますので、汚れに応じて乾いた柔らかい布でふくか、水にひたした布をかたくしぼってから軽くふいてください。(目安として月に一度)。

■給電端子

- 給電端子部分にゴミや油などが付着すると、本機の充電ができなくなる場合がありますので、汚れに応じて乾いた柔らかい布でふくか、水にひたした布をかたくしぼってから軽くふいてください。(目安として月に一度)。

困ったときには

携帯端末機をご使用中に「おや？おかしいな？」と思ったら、故障と考える前にまず次のことを調べてみてください。

現象	考えられる原因	対策
電源を入れても画面が表示されない。	電池の充電不足	電池パックを充電してください。
	電池の寿命	使用している電池パックを新しいものに交換してください。
電源を入れているのに画面が消える。	オートパワーオフが作動している	電源を入れてください。
画面表示するが、すぐに消える。	電池の充電不足	電池パックを充電してください。
	電池の寿命	使用している電池パックを新しいものに交換してください。
バーコードの読み取りができない。	コード読み取り口が汚れている	26 ページ「お手入れのしかた」を参照し、コード読み取り口の汚れをふきとってください。
	電池の充電不足	電池パックを充電してください。
	電池の寿命	使用している電池パックを新しいものに交換してください。
光通信ができない。	電池の充電不足	電池パックを充電してください。
	電池の寿命	使用している電池パックを新しいものに交換してください。
	25 ページ「光通信で周辺機器と接続するときのお願い」を参照してください。	
無線通信ができない。	電池の充電不足	電池パックを充電してください。
	電池の寿命	使用している電池パックを新しいものに交換してください。
	25 ページ「無線通信（Bluetooth®、無線LAN）で周辺機器と接続するときのお願い」を参照してください。	
	SIM カードが正しく挿入されているか、確認してください。	

◆お願い

- 本機のケースを開けるなどの分解行為は絶対に行わないでください。

障害時の対応

■障害が起こったとき

1 まず障害の状況を確認してください。

2 操作方法が間違っていないか確認してください。

3 近くに代わりの機器があるときは、その携帯端末機で障害内容を確認してください。

■障害を確認したとき

お客様担当窓口へ連絡してください。

主な仕様

項目		仕様
CPU		32 bit　RISC　CPU
OS		Microsoft® Windows® Embedded CE 6.0 Pro
メモリー	ROM	FROM 32 MB（システム領域） Flash ROM 128MB（一部システム領域）
	RAM	SDRAM 64 MB
表示	表示方式	半透過型 TFT カラー液晶（65,536 色）
	画面寸法	33.84 mm × 45.12 mm（2.7 インチ）
	表示容量	240 × 320 ドット
	ドットピッチ	0.141 mm × 0.141 mm
	バックライト	LED 式バックライト（白色）
	文字種	JIS 第一水準、JIS 第二水準、ANK
入力	キー	30 キー（電源、トリガースイッチ含む）
	タッチパネル　※1	抵抗膜方式
通信機能	Bluetooth®	規　　格：V2.0＋EDR　クラス 2
		通信距離：約 10 m（見通し距離）
	光通信 （IrDA）	規　　格：IrDA V1.2（独自プロトコル）
		通信速度：115 k bps（最大）
		通信距離：1～20 cm
	USB	USB2.0　Full スピード対応（最大 12 Mbps）
		コネクター：mini-B
	無線 LAN　※2	IEEE802.11b/g 準拠
	3G 通信　※3	適応回線：3G
		通信速度： 下り 384 kbps、上り 64 kbps　(UMT) 下り 7.2 Mbps、上り 384 kbps (HSDPA)
		通信方式：パケット通信
		SIM カード対応
2 次元 スキャナー　※4	読み取り方式	131 万画素 CMOS センサー（撮像機能付き）
	照明	LED 式照明（白色）
	読み取り照準	レーザーマーカー　JIS クラス 2 準拠
		レーザー波長：約 650 nm レーザー出力：1 mW 未満
レーザー スキャナー　※5	レーザー波長	約 650 nm　JIS クラス 2 準拠
	レーザー出力	1 mW未満　JIS クラス 2 準拠
	レーザー走査角度	約 54°
カードスロット		microSDHC／microSD カードスロット × 1
ブザー	音量	6 段階（無、1～5）

主な仕様　（つづき）

項目		仕様
電源	種別	専用電池パック（リチウムイオン 2 次電池）
	定格電圧／容量	3.7 V ／ 1700 mAh
	動作時間　※6	25 時間以上
	外部給電	接触給電方式
	充電時間	約 4 時間（周囲温度 25℃、電池電圧 3.0 V 時）
外形	寸法	約 172 mm × 約 66 mm × 約 45 mm （凸部を除く）
	質量	JT-H300HT-10　：約 260 g JT-H300HT-2W　：約 265 g JT-H300HT-3W　：約 265 g JT-H300HT-2H　：約 290 g （専用電池パック装着時）
環境	使用温度	-10 ℃～50 ℃ （車内では、直射日光を避けてください。）
	使用湿度	20 %RH～80 %RH（結露なきこと）
	保護構造	IP64 （JIS C 0920　防じん形、防まつ形）

※1　タッチパネル搭載モデル　：JT-H300HT-3W

※2　無線 LAN 搭載モデル　：JT-H300HT-2W, -3W, -2H

※3　3G 通信モジュール搭載モデル　：JT-H300HT-2H
通信速度は技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。
実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

※4　2 次元スキャナー搭載モデル　：JT-H300HT-2W, -2H

※5　レーザースキャナー搭載モデル　：JT-H300HT-10, -3W

※6　JEITA 動作モード G：LCD バックライトを点灯した状態で、新品の電池パックを用いて、10 秒ごとに 2 回バーコードスキャンし、1KB のデータを送受信。弊社試験環境では、バックライトは最低照度に設定。

*Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* Bluetooth®は The Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

*FOMA は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

*microSDHC ロゴ、microSD ロゴは商標です。

本機器の取扱説明書は、以下の URL からダウンロード可能です。
http://panasonic.biz/it/ht/catalog/index.html

ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター
- フリーダイヤル 0120-878-410
- 受付：9 時～17 時 30 分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社
〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目３番８号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2010

3TR006304BAA
R1209-1010